

令和3年度事業報告

I 事業

中小企業のニーズに応え各種支援事業を実施するなど、名古屋市と密接に連携し、公益財団法人として、産業振興施策を推進した。

具体的には、先端技術研究開発の支援やプラズマ技術の産業応用支援に努めたほか、中小企業経営や創業・新事業等に関する相談・研修事業、中小企業の技術者の養成のための産業人材育成事業、工業技術に関する情報提供事業等を実施した。

また、指定管理者として、名古屋市中企業振興会館等を管理運営し、利用率の向上に努めた。

さらに、新型コロナウイルス感染症による影響を受けている中小企業に対する支援として、国の「一時支援金」、「月次支援金」及び「事業復活支援金」の申請に必要な事前確認や、従業員等のワクチン接種を推進する市内中小企業者等に対し、従業員等規模に応じた給付金の交付を行った。

【公益目的事業の実施】

1	先端技術研究開発推進事業	収益	50,155 千円
		費用	50,155 千円
		差額	0 千円

なごやサイエンスパーク内の研究開発センターを地域の研究機関等に提供し、産業応用を見据えた先端技術の研究開発を支援した。

なごやサイエンスパーク研究開発センターの研究団体及び研究テーマ

- ・ 国立研究開発法人理化学研究所
「生物制御に基づくロボットの自律制御に関する研究」
- ・ 公益財団法人名古屋産業科学研究所
「SiC単結晶を用いた高精度切削工具の研究開発」
「触覚センサ付きロボットハンドによる加工食品のハンドリングに関する研究開発」

2	プラズマ技術産業応用支援事業	収益	21,569 千円
		費用	25,706 千円
		差額	△4,137 千円

「プラズマが拓くものづくり研究会（PLAM）」の会員をはじめ、プラズマ技術の産業応用に関心のある企業に対して、可能性トライアルを実施したほか、名古屋市工業研究所との連携のもと技術相談やテスト処理・分析を行うとともに、地域の研究機関と連携して地域企業の振興に取り組んだ。

また、最新のプラズマ技術及び産業応用事例をテーマにした講演会の開催、メーリングリストによる関連団体のプラズマ関連情報の配信等により、プラズマ技術全般に関する情報提供を行った。

(1) プラズマに関する技術支援

ア プラズマ技術に関する技術相談窓口

名古屋市工業研究所と連携をとりながら、専門的知識・経験を有する職員が企業からの技術相談に対応した。

技術相談 111社 209件

イ テスト処理・分析

企業からの依頼に応じて、プラズマ技術を用いた材料開発や高機能化のための試作を支援した。

機器利用件数 29社 108件

ウ 可能性トライアルの実施

中小企業等のプラズマ技術応用に関する研究開発を企業の経費負担によって行い、技術的課題の解決を図った。

可能性トライアル数 6社 12テーマ

(2) PLAMの運営

会員企業 340社

講演会開催 1回

参加者 33人

3	共同研究事業	収益	237,385千円
		費用	237,385千円
		差額	0千円

中小企業のものづくり基盤技術の高度化を図るため、基盤技術を担う中小企業、研究機関等の研究開発事業の管理運営を行った。

戦略的基盤技術高度化支援事業（※経済産業省の補助事業）

- ・テーマ 「国産木質素材の流動成形による“木材の質感”を備えた高級車車内空間部材の量産化研究開発」（令和元～3年度事業）
- ・テーマ 「風力削減に風車を用い、削減過程で発電、その電力により回転を自己制御し、風害の発生を防ぐ建材の研究開発」（令和元～3年度事業）
- ・テーマ 「グラフェン電極を用いた大容量全固体リチウムイオン電池の研究開発」（令和2～4年度事業）
- ・テーマ 「半導体微細径ワイヤボンドの非破壊瞬時検査方法と自動検査装置の開発」（令和2～4年度事業）
- ・テーマ 「Society5.0の実現に不可欠な超小型デジタル部品の生産性を飛躍的に高めるバレル研磨法の開発」（令和3～5年度事業）
- ・テーマ 「マグネタイト複合ニッケルめっきの開発及びナノ粒子分散技術の最適化による分散度測定装置の開発」（令和3～5年度事業）
- ・テーマ 「溶液を使用しない環境に優しいアルミニウムの新表面処理「水蒸気プロセス」とその設備の開発」（令和3～5年度事業）

4	研究開発促進事業	収益	17,585 千円
		費用	18,357 千円
		差額	△772 千円

(1) 産学行政連携支援事業

ア 研究会の開催

(ア) 医療・福祉・健康分野

- ・ヒューマンインターフェイス研究会

開催 1回 参加者 43人

(イ) ロボット・ICT分野

- ・Nagoyaオープンイノベーション研究会 (Nova)

開催 2回 参加者 196人

(ウ) ものづくり技術分野

- ・CAEを活用したものづくり研究会

開催 1回 参加者 15人

- ・ファインバブル技術産業活用研究会

開催 1回 参加者 101人

(エ) デザイン分野

- ・ものづくりデザインプラットフォーム

開催 3回 参加者 29人

(オ) 先端技術分野

- ・革新的技術研究会

開催 1回 参加者 55人

(2) 医療介護機器等高度化支援事業

- ・ヘルスケアイノベーション推進会議

開催 2回 参加者 35人

- ・医療機器開発チャレンジワークショップ

開催 3回 参加者 37人

- ・介護機器開発チャレンジワークショップ

開催 3回 参加者 25人

- ・医療介護機器等実証評価

評価件数 5社5製品

- ・展示会出展 (TECH Biz EXPO 2022、メディカルメッセオンライン)

5	新事業創出支援事業	収益	1,220,358千円
		費用	1,218,776千円
		差額	1,582千円

(1) 相談、専門家派遣、創業研修事業等

ア 相談事業

中小企業経営、創業・新事業等を支援するため、中小企業診断士等の資格を有するマネージャーが窓口相談や企業訪問によるアドバイス等を行うとともに、女性向け経営アドバイザーを配置し、女性の創業希望者及び女性経営者等の相談に対応した。

また、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた中小法人・個人事業者が、国の「一時支援金」、「月次支援金」及び「事業復活支援金」を申請するに当たり必要な事前確認を実施した。

さらには、中小企業から国の施策を活用して事業を再構築するための事業計画作成をはじめとした経営に関する相談が多く寄せられたことから、相談件数は例年と比較して大幅に増加した。

相談企業 2,408社・者

相談等延件数 3,470件

上記のうち、事前確認を行った件数は、

一時支援金の事前確認 1,182件

月次支援金の事前確認 223件

事業復活支援金の事前確認 324件

女性向け経営アドバイザーが行った相談件数等は、

相談企業 96社・者

相談件数 122件

小規模企業経営力強化支援事業の相談件数等は(2)に記載。

イ 専門家派遣事業

(ア) 専門家派遣（経営改善・創業・新事業）

経営改善等に取り組む中小企業に対して、中小企業診断士等の専門資格を持つ人材を派遣し、現場で実践的な支援を行った。

派遣企業 95社

派遣回数 242回

(イ) 専門家派遣（工業技術・技能指導）

中小企業の技術力の向上を図るため、退職した民間の熟練技術者等を指導者（テクノアドバイザー）として広く募集・登録し、中小企業からの依頼に応じて派遣することにより、生産現場における技術的課題の解決を支援した。

派遣企業 5社

派遣回数 24回

ウ 創業研修事業

創業セミナー

開催日	令和3年5月18日、11月12日
場 所	ナゴヤイノベーションズガレージ
対 象	創業に関心のある方、創業を目指している方等
参加者	42人
内 容	創業時に必要な情報や創業の魅力等について

エ 新事業創出支援機関の連携促進

名古屋市内に拠点を置く新事業支援機関（21支援機関）の連携を図るため、名古屋市新事業創出連絡会議（あいち新事業活動促進連携会議と合同）を開催した。

(2) 小規模企業経営力強化支援事業

小規模企業の生産性向上による経営力の強化を図るため、小規模企業経営アドバイザーの訪問等による各種相談のほか、小規模企業生産性向上設備投資補助金の交付事務、小規模企業経営基盤強化設備投資補助金の認定事務を行った。

小規模企業経営アドバイザー

相談企業	141社・者
相談件数	352件

小規模企業生産性向上設備投資補助金

交付件数	44件
------	-----

小規模企業経営基盤強化設備投資補助金

認定件数	39件
------	-----

(3) ビジネスマッチング事業

ア ビジネスプラン発表会の開催

新事業に取り組む中小企業の販路拡大や事業提携を支援するため、公益財団法人あいち産業振興機構等と共催でビジネスプラン発表会を開催した。

プラン発表企業	2社
発表会参加者	100人

イ ものづくり企業技術・販路マッチング支援事業の実施

新型コロナウイルス感染症の影響により、従来の技術探索や営業活動が困難になっている中小製造業に対し、オンライン展示会等への出展支援や、製造業を専門にマッチングを行う企業を活用した新規顧客獲得・新分野進出の支援を行った。

技術募集情報の提供	28社
オンライン展示会等への出展支援	30社
マッチングの伴走支援	10社
コーディネーター（支援統括担当、技術担当、WEBマーケティング担当）によるサポート	

(4) 創業支援施設の入居企業への支援

ア インキュベーションマネージャーによる支援

名古屋ビジネスインキュベータ（n a b i / 金山）及び名古屋ビジネスインキュベータ白金（n a b i / 白金）の入居企業への支援及び誘致を行った。

研修会等の開催 26回

経営相談 1, 112件

また、名古屋医工連携インキュベータにインキュベーションマネージャーを2名配置し、入居者への支援を行った。

イ 創業ルームの運営

名古屋ビジネスインキュベータ（n a b i / 金山）及び名古屋ビジネスインキュベータ白金（n a b i / 白金）において、小規模区画を創業希望者等に廉価で貸与したほか、名古屋ビジネスインキュベータ（n a b i / 金山）の一部区画については女性専用の「女性創業ルーム」として貸与した。

ウ 創業準備ルームの運営

名古屋ビジネスインキュベータ白金（n a b i / 白金）において、市内での創業予定者に6か月間無料でブースを提供するとともに、マネージャー（創業担当）等による研修及び相談支援を行った。

第21期・第22期利用者 26人

令和3年度創業者 16人

(5) セーフティネット保証認定申請受付等相談業務

信用保証協会が通常の保証限度額とは別枠で保証を行うセーフティネット保証について、市が実施する認定業務を支援するため、専門家等の派遣を行った。

相談件数 813件

派遣延人数 218人

(6) 中小企業等新型コロナウイルスワクチン接種促進給付金

経済活動の維持・回復のため、従業員等のワクチン接種を推進する市内中小企業者等に対し、従業員等規模に応じた給付金を交付した。

交付件数 35,965件

6	普及啓発・情報提供事業	収益	48,499千円
		費用	58,141千円
		差額	△9,642千円

(1) 普及啓発事業

ア 市民向け啓発事業（なごや・サイエンス・ひろば）

市民、とりわけ子ども達に科学技術に対する理解と関心を深めてもらうた

め、なごやサイエンスパーク内の研究施設の一般公開、研究内容・成果の紹介及び科学技術に関するイベント等を行う「なごや・サイエンス・ひろば」について、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、規模を縮小するなど感染症対策を徹底したうえで実施した。

開催日	令和3年11月6日
開催方法	事前申込・定員制
参加者数	241人

イ 研究成果普及啓発事業

なごやサイエンスパークに集積する研究機関・企業などの研究者・技術者に向けて研究成果の発表や交流の場を提供することで、研究成果の普及を図るとともに産学行政の連携活動を支援した。

なごやサイエンスパーク連携推進会議の開催	1回	20人
テクノヒル連絡会義の開催	1回	16人
サイエンスカフェの開催	1回	23人

ウ 「ナゴヤファッションコンテスト2021」の開催

ファッション業界における新しい才能の発掘と育成に寄与するため、ナゴヤファッション協会と共同で、ファッションクリエイターを志す国内外の学生、社会人等を対象としたファッションコンテストを開催した。

開催日	第1次審査会	令和3年6月7日
	最終公開審査会	令和3年9月16日
場所	第1次審査会	台東区民会館
	最終公開審査会	デザインホール (ナディアパーク・デザインセンタービル)
応募作品	6,601点(うち海外からの応募作品171点)	
来場者	450人(最終公開審査会)	

(2) 情報提供事業

ファッション関連企業、デザイナーなどファッションを取り巻く様々な立場の人を対象にトレンド情報等を提供するため、ナゴヤファッション協会と共同で、ファッションセミナーを開催した。

開催	4回
参加者	176人

(3) 異業種交流グループの活動支援

異なった事業を行う中小企業が、相互に有する技術や市場に関する経験を活かし、技術交流と知識の融合化を促進する場を提供した。

講習会・講演会	16回
優良企業の見学会・交流会	18回
他都市の先端企業の見学会・交流会	1回
会員交流会等	13回

(4) ものづくり技術講演会・工業技術グランプリの開催

中小企業の技術開発力の向上を図るため、「転換期を迎える自動車産業」をテーマとした、ものづくり技術講演会を開催した。

また、当地域で開発された優秀な新技術・新製品を表彰する工業技術グランプリを実施した。

ア ものづくり技術講演会

開催日 令和4年2月16日

参加者 100人

イ 工業技術グランプリ

受賞企業 10企業

※ものづくり技術講演会で受賞企業及び受賞事例を紹介

(5) 情報提供・交流フロアの運営

産業技術図書館において、内外の技術図書、技術情報誌、技術資料(約4万冊)を無料で閲覧に供した。

また、技術情報交流の場として、情報交流フロアの運営を行った。

図書館来館者 3,774人

情報交流フロア利用者 11,446人

7	産業人材育成事業	収益	43,788千円
		費用	42,004千円
		差額	1,784千円

(1) ものづくり人材技術・技能スキルアップ支援事業

ものづくり人材の育成、熟練技能者の退職に伴う技能継承など、中小企業の技術開発力強化のための研修・実習等を行った。

ア 中小企業技術者研修

中小製造業の若手技術者が各種技術の基礎理論や応用知識を習得するための実践的な講義・実習

電子回路技術研修など10コース

受講者 86社 105人

イ 中小企業技能者育成講座

熟練技能者の指導により技能士資格に関する訓練等を行う講座

プラスチック射出成形不良対策講座など3コース

受講者 26社 38人

(2) 教育訓練事業

中小企業のものづくり人材を育成するため、産業界が抱える共通の課題に対応するための現場管理者・技術者向け講習会等(ものづくり支援講座7コース)を開催した。

ア	産業用ロボット作業員特別教育講習会		
	開催	年6回	受講者 76社 123人
イ	現場管理者の生産管理技術（トヨタ生産方式）研修		
	受講者		4社 6人
ウ	機械設計図面の見方・読み方研修		
	受講者		16社 26人
エ	機械設計図面の描き方研修		
	受講者		11社 18人
オ	知的財産担当者養成講座		
	受講者	(前期)	5社 5人
		(後期)	3社 4人
カ	機械系技術者のための「エレクトロニクスの知識」研修		
	受講者		10社 11人
キ	プラズマ技術産業応用研修		
	受講者		9社 9人

(3) 技術経営（MOT）研修

経営の視点から技術戦略を検討する人材育成のため、（公財）科学技術交流財団、（公財）名古屋産業科学研究所と共催でMOT研修（基礎コース・実践コース）を実施した。

受講者	基礎コース	58人
	実践コース	8人

8	工業技術情報提供事業	収益	4,143千円
		費用	3,675千円
		差額	468千円

(1) 講演会の実施

開催日	令和4年3月15日
内容	「セルロースナノファイバー（CNF）を活かしたクルマ作り」
講師	京都大学 生存圏研究所 生物機能材料分野 特任教授 臼杵 有光 氏
参加者	55人

(2) 「技術のひろば」の発行

発行 2回 発行部数 各1,500部

(3) 商品展示・カタログ展示

ア	商品展示		
	展示場所・企業数	ナディアパーク・デザインセンタービル	6社

イ カタログ展示

展示場所・企業数	名古屋市中心企業振興会館	35社
	名古屋市国際展示場（ポートメッセなごや）	36社
	名古屋市工業研究所	38社

(4) 賛助員に対するメールマガジンの配信

毎月1日、15日頃配信

(5) 賛助員及び報道関係者に対する講習会・講演会等の案内発送

毎月10日頃発送

(6) 賛助員の企業情報を発信

公社ウェブサイトに掲載を希望する賛助員企業を紹介

※参考 賛助員数 242社（令和4年3月31日現在）

9	経済交流・誘致促進事業	収益(※)	148,496千円
		費用	148,549千円
		差額(※)	△53千円

※収益には積立資産取崩額(5,405千円)及びキャンセル支援補助金(11,714千円)を含む。

(1) 外資系企業の誘致

外資系企業の名古屋進出を促進するため、名古屋市、愛知県、名古屋港管理組合、名古屋商工会議所が共同で設立した「愛知・名古屋国際ビジネス・アクセス・センター」に職員を派遣し、国、県、名古屋市をはじめ関係機関と連携した活動を行うことにより、外資系企業の誘致を行った。

外資系企業の誘致件数 2件

(2) 見本市・展示会の開催

関係団体と共同で、当地域におけるものづくり技術の集積を生かした産業見本市を開催し、地域産業の発表の場、交流の場を提供した。

建設技術フェア2021 in 中部の開催

開催日 令和3年12月14日～15日

場 所 吹上ホール

出展者 254社・団体

来場者 14,054人

内 容 国土交通省中部地方整備局と共催で、産学官の技術情報交流の場を提供し、技術開発の現状と方向性、新技術の導入等を紹介

第11回次世代ものづくり基盤技術産業展 TECH Biz EXPO

開催日 令和4年2月9日～10日

場 所 吹上ホール

出展者 120社・団体
 来場者 3,322人
 内 容 我が国の基幹産業である製造業の発展を支え、当地域の産業技術の高度化と新技術の開発に寄与するものづくり最新要素技術を幅広く紹介

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、「第24回国際福祉健康産業展～ウェルフェア2021～」及び「第9回中部ライフガードTEC2021～防災・減災・危機管理展～」は中止した。

10	関係団体事務受託事業	収益	3,235千円
		費用	3,035千円
		差額	200千円

企業や研究者を会員とする産業技術関係団体が行う研究・技術の交流事業等を支援するため、当該団体からの受託事務を行った。

(1) 異業種交流団体

団体名・代表者	助言者	会員数
テクノプラザナゴヤ88 会長 株式会社吉田SKT 代表取締役会長 吉田 由孝	山下 菊丈	24社
テクノプラザナゴヤ001 会長 名古屋樹脂工業株式会社 代表取締役社長 伊藤 誠一	名古屋工業大学 准教授 矢野卓真	17社
テクノプラザナゴヤ90 会長 萩原電気ホールディングス株式会社 名誉会長 萩原 義昭	濱田 幸弘	19社
テクノプラザナゴヤ91 会長 複合資材株式会社 代表取締役社長 尾藤 正儀	福田 博行	11社

(2) 各種研究団体

中部生産加工技術振興会
 中部塗装技術研究会
 中部歯車懇話会
 中部溶接振興会
 名古屋テキスタイル研究会
 日本カム工業会
 鍍金技術研究会
 東海無機分析化学研究会

【収益事業等の実施】

1	施設管理附帯事業	収益	33,149 千円
		費用	27,503 千円
		差額	5,646 千円

名古屋市中小企業振興会館等の施設管理運営に附帯する備品の貸出業務や自動販売機の維持管理を行ったほか、催事案内を掲載したイベントカレンダーを作成した。

施設管理附帯事業収益（主なものを掲載）

貸出備品使用料収益	19,874 千円
自動販売機売上等手数料収益	7,329 千円

2	吹上及び吹上中央帯駐車場の管理運営	収益(※)	30,512 千円
		費用(※)	33,745 千円
		差額(※)	△3,233 千円

※収益には減収補填に係る指定管理料（1,504 千円）を、費用には減収補填に係る指定管理納付金の減額（△40,073 千円）を含む。

名古屋市中小企業振興会館に隣接する名古屋市道路附属物自動車駐車場である吹上及び吹上中央帯駐車場について、指定管理者として管理運営を行った。